

報恩寺だより

No. 38
平成21年4月1日発行
おたすけ観音 報恩寺
綾瀬市寺尾南2-10-1
電話 0467-78-7160
FAX 0467-79-1567

大般若祈祷会勤修について

5月17日は、おたすけ観音の縁日です。皆様の室内安全、身体健全、諸災消除、諸縁吉祥を祈り、大般若祈祷会を下記により行います。
お誘い合わせのうえ御参詣くださるよう、ご案内申し上げます。

記

期 日 平成21年5月17日(日)

日 程 午後1時半 御詠歌
午後2時 大般若祈祷会
午後3時 落語 隅田川馬石
午後3時半 小斎

祈祷料(2,000円)は、この報恩寺だよりを郵送した封筒にいれ、
当日御志納お願い致します。



隅田川馬石(すみだがわばせき)

本名 村上 覚 (むらかみ さとし)
生年月日 1969年7月14日
芸種 落語
出身地 兵庫県西脇市
出囃子 岸の柳
紋 裏梅
芸歴 平成3年6月 石坂浩二主宰劇団 急旋回(きゅうせんかい)に入団
平成5年10月 五街道雲助に入門 前座名「五街道わたし」
平成9年9月 二つ目昇進「五街道佐助」に改名
平成19年3月 「五街道佐助」改メ 四代目「隅田川馬石」(すみだがわばせき)で真打昇進
初高座 1993年12月02日
場所 池袋演芸場
演目 道灌(お客様一人でした)
得意ネタ お富与三郎、名人長二
受賞 平成11年度 北とぴあ若手落語家競演会 奨励賞 平成19年「第12回 林家彦六賞」受賞
趣味 野球 義太夫 マラソン
自己PR 観ている人が時間を忘れてしまう、そんなロマンチックな落語を演りたいです。



ありがとうの心

最近、健康のためと、地球環境のためになるべく自転車を使用するようにしていますが、熱海まで自転車で箱根山を越えて行きました。

箱根駅伝の往路5区小田原中継所から芦ノ湖までの区間最高記録は1時間18分ですが、私は自転車で1時間40分かかりました。

今の自転車に乗り始めたころは、「なにくそ、負けるものか」と自分を奮い立たせながら走っていました。しかし、頑張りすぎるとすぐに疲れてしまい結局、長く続けることができません。そこで、ゆっくりでも漕ぎ続けていけば必ず到着することができるのだから、今こうしてペダルを漕いでいられることが有難いことなのだと考え方を改めてみると、長い距離を乗れるようになり、今まで不可能だと思いこんでいた場所も、必ず行くことができるのだと思うようになりました。

上り坂の一陣の追い風に、峠の絶景に出会えた御縁に「ありがとうございます」と感じられる余裕も出てきました。

「ありがとうございます」の心を大切にし、健康のため地球環境の為につづけていきたいと思います。

加藤 良隆 合掌



特別御寄進

次の方々から特別御寄進を頂きました。各位の御芳志に感謝すると共に供養菩提のご冥福をお祈りいたします。

平成20年4月	笠間 博幸様	平成20年9月	小山田政行様	平成20年11月	小山 昇様
平成20年4月	橋川 周治様	平成20年10月	奥津 政司様	平成20年12月	橋川 幸雄様
平成20年5月	高崎 邦雄様	平成20年10月	橋川 雅弘様	平成21年1月	森山 好春様
平成20年5月	山口 裕久様	平成20年10月	小山 尚史様	平成21年1月	山口 秋吉様
平成20年7月	飯山 紀子様	平成20年11月	近藤 美智様		
平成20年7月	橋川 幸男様	平成20年11月	小山田兵衛様		

◆ 報恩寺年間行事予定 ◆

4月8日	花祭り	12月8日	成道会
5月17日	大般若祈祷会	12月31日	除夜
8月7日	大施餓鬼会	1月1日	お年始詣
9月18日	秋彼岸会法要	2月15日	涅槃会
10月6日・7日	檀信徒研修会	3月	春彼岸会法要

曹洞宗壇信徒研修会に参加して

馬場 陽子

数年前主人を亡くし、皆様のお力添えで、報恩寺の檀家になることが出来感謝しております。平成二十年十一月十三日曹洞宗神奈川県第二宗務所壇信徒研修会のお誘いを受け参加させていただきました。

七百五十年の歴史を刻む永平寺の傍らの清流に心洗われ、樹齢数百年の老杉に囲まれた参道を登り先代の宮崎禅師様のお墓にお参りをしたのち、吉祥閣にて細かい注意事項等を受け、寺の内を見学しました。雲水さんの凛として、無駄のない所作が美しく、長い廊下や畳の上を歩く姿は一幅の絵を見ているようでした。



詠讃歌と私

正詠教範 笠間 綾子

昭和五十二年 報恩寺梅花講に入講させて戴き早や三十二年が経ちました。今改めて振り返ってみると、さまざまな事が次から次へと走馬灯の如く思い出されます。

ご住職の奥様の熱心なご指導を仰ぎながら只夢中でございました。お唱えだけではなく終わつた後の茶話会は楽しい一時でござります。

念願でございました百觀音巡拝、一針一針願いを込めて作った笈摺を着用して無事に満願できました。元気にお参り出来ました事はお觀音

様のご利益のお陰と感謝いたしております。全国の梅花講員が一同に集う大会、地区の研修会に参加させて戴き、また検定にも挑戦してまいりました。

今迄一番残念でございました事は師でいらっしゃる奥様が平成八年一月病気でご逝去されました、皆これからどうしたら良いのか途方に暮れていきました。

その後ご住職様が私達の詠讃歌をご指導下さる事になりました。安心いたしました。

前向きに詠讃歌の編曲二部構成による和音を楽しみまた、御立派な先生をお招きくださいました。

現在、副住職様を中心今年の目標である「ありがとうございます」の大切なお言葉を胸にきざみ詠讃歌のお唱えを精進しております。

最後に私事でございますが、今回の検定に過ぎて最上級である難しい正詠教範に挑戦しました。見事合格できました。ひとえに諸先生方、菩提寺、講員の方々の温かく厳しいご指導の賜物と感謝申し上げます。

そして、家族の協力があつてこそ、ここ迄来ることができました。

総べてにありがとうございます。

また、これからもこの名に恥じない様、原点に返り梅花流詠讃歌を曹洞宗の信仰内容を信じて大切に思いながら、仏祖の歩まれた道、教えを広く正しく学びながら一步一歩詠讃歌に励んで行きたいと思います。



合掌

永々と数百年間も同じように廊下を磨き、經くのでしよう。
能登の總持寺祖院は地割れも生々しく地震の爪痕が残っていました。
瑩山禪師様の一生を欄間に一のみーのみ親子二代にわたって刻されたのを拝見し、いかに

寺と参詣し、見えないものに頭をたれ、感謝の気持ちを持てたらしいなあと思いました。
お仲間の皆様とも和氣あいあいと楽しく、第一夜は永平寺の大広間にて枕を並べ学生の合宿のように、次の日は和倉温泉にて「極楽極楽」と湯につかり、金沢では、ひがしの茶屋街にて昔の旦那衆は知的で優雅なお遊びをしたものだと複雑な思いで見学をしてきました。

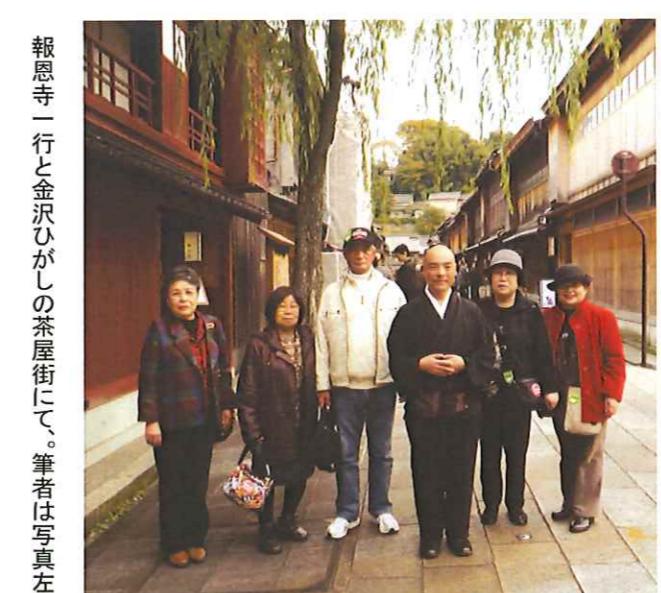
方丈さんを始めお仲間の皆様楽しい思い出を有難うございました。



總持寺祖院本堂



永平寺佛殿



合掌